

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法人東京医科
理事長 臼井 正

東京医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	126.6 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	651人	234人	671.3人	看護補助者	95人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	23人	12人	24.7人	理学療法士	9人	臨床検査技師	109人
薬 剤 師	63人	0人	63.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保 健 師	3人	0人	3.0人	視能訓練士	11人	その他	0人
助 産 師	33人	0人	33.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	952人	5人	954.9人	臨床工学技士	19人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	3人	0人	3.0人	栄 養 士	2人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	371人
管理栄養士	12人	3人	12.1人	診療放射線技師	68人	その他の職員	29人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	745 人	7 人	752 人
1日当たり平均外来患者数	2,648 人	102 人	2,750 人
1日当たり平均調剤数			809 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	125人	・膿疱性乾癬	14人
・多発性硬化症	76人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	92人	・原発性胆汁性肝硬変	41人
・全身性エリテマトーデス	193人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	19人
・再生不良性貧血	60人	・混合性結合組織病	23人
・サルコイドーシス	87人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	11人	・特発性間質性肺炎	6人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	117人	・網膜色素変性症	49人
・特発性血小板減少性紫斑病	122人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	24人	・肺動脈性肺高血圧症	0人
・潰瘍性大腸炎	207人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	14人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	49人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	51人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	10人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	136人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	60人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	31人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	53人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	3人	・黄色靭帯骨化症	7人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	22人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
末梢小型肺腺癌に対する次世代型気管支鏡治療の開発	白田 実男	外科学1	2,100	③補委 文部科学省
多次元医用画像と深部情報可視化映像によるリアルタイム手術支援システムの開発	佐治 久	外科学1	2,000	③補委 文部科学省
中枢型肺がんに対する凍結融解療法を用いた新規内視鏡治療の開発	石角 太一郎	外科学1	1,200	③補委 文部科学省
チオール基の酸化還元を指標にした診断バイオマーカー蛋白質の同定と検証	川上 隆雄	外科学1	800	③補委 文部科学省
アンチエイジング機能を利用した新たな癌治療法の開発	工藤 勇人	外科学1	1,300	③補委 文部科学省
血清マイクロリボ核酸による膵癌早期診断の可能性	土田 明彦	外科学3	2,000	③補委 文部科学省
IL-27による樹状細胞とマクロファージを用いた新しい抗腫瘍免疫細胞療法の開発	久田 将之	外科学3	2,000	③補委 文部科学省
Hedgehogによる白血病幹細胞維持の分子メカニズム	岡部 聖一	内科学1	1,400	③補委 文部科学省
急性前骨髄性白血病細胞の組織浸潤機構解明による新規治療法の立案	後藤 明彦	内科学1	1,200	③補委 文部科学省
miRNAによる悪性リンパ腫の治療効果判定予測と生物学的意義の解明	吉澤 成一郎	内科学1	900	③補委 文部科学省
脂質メディエーターによる骨髄腫細胞の制御	田中 裕子	内科学1	2,200	③補委 文部科学省
臓器障害進展予測指標としての脈波解析指標の有用性の確立	富山 博史	内科学2	500	③補委 文部科学省
新規シトルリン抗原同一関節リウマチにおける病原性の解明とバイオマーカーへの展開	沢田 哲治	内科学3	700	③補委 文部科学省
膵癌に対する診断・治療を目的としたナノ粒子によるバイオマーカーの確立	糸井 隆夫	内科学4	1,400	③補委 文部科学省
眼内悪性リンパ腫の病態解明ならびに新規治療に向けた研究	後藤 浩	眼科学	1,200	③補委 文部科学省
難治性視神経脊髄炎に対する神経ペプチド遺伝子組み込み免疫制御細胞の開発	毛塚 剛司	眼科学	900	③補委 文部科学省
緑内障に対する新しい免疫学的・遺伝子学的診断、治療、経過観察法の開発	丸山 勝彦	眼科学	1,000	③補委 文部科学省
制御性樹状細胞を誘導させたドナー角膜による新しい移植免疫制御システムの開発	熊倉 重人	眼科学	1,400	③補委 文部科学省
難治性ぶどう膜網膜炎の発症および再発に関する補助シグナル分子の検討	臼井 嘉彦	眼科学	900	③補委 文部科学省
ミクログリアを介した角膜神経再生メカニズムの解析と治療法の開発	服部 貴明	眼科学	1,300	③補委 文部科学省
睡眠覚醒リズムからみた集中治療環境でのせん妄病態とメトニアンゴニスト治療の効果	高江洲 義和	精神医学	1,400	③補委 文部科学省
股関節シミュレーターを使用した各種超高分子ポリエチレンの摩耗特性の検討	山本 謙吾	整形外科	500	③補委 文部科学省
ヒト椎間板性腰痛における椎間板変性および椎間板への神経侵入の分子機構	遠藤 健司	整形外科	1,800	③補委 文部科学省
人工関節再置換率抑制を目指す、マイクロRNA・EP4作動薬併用による新規治療法	小坂 泰一	整形外科	2,000	③補委 文部科学省
選択的COX-2阻害剤の椎間板性腰痛に対する効果の基礎研究	澤地 恭昇	整形外科	1,700	③補委 文部科学省

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
子宮頸がんにおける早期診断マーカーとしての血清中miRNAの探索と解析	西洋孝	産科婦人科学	1,300	③補委 文部科学省
新生児の脳循環と体循環の経時的評価ー脳自動調節能の考察ー	高見剛	小児科学	600	③補委 文部科学省
めまいの新概念, 半規管クプラの形態異常に関する基礎的研究	鈴木衛	耳鼻咽喉科学	700	③補委 文部科学省
NFκB-IL6系を標的とした難治性前立腺癌の進展と癌随伴症に対する新規治療戦略	中島淳	泌尿器科学	500	③補委 文部科学省
皮膚リンパ腫に対するエピジェネティクスを基盤とした併用療法の効果と作用機序の解析	坪井良治	皮膚科学	1,600	③補委 文部科学省
PU, 1を過剰発現させた肥満細胞によるCD11c蛋白の発現誘導の検討	伊藤友章	皮膚科学	2,000	③補委 文部科学省
尋常性ざ瘡における微生物叢の網羅的解析とマラセチア関与の解明	斎藤磨美	皮膚科学	1,100	③補委 文部科学省
表皮角化細胞の脱核メカニズム解明と不全角化性疾患における関連因子の動態解析	山本真実	皮膚科学	2,000	③補委 文部科学省
敗血症性脳症誘発機序の基礎的解明	内野博之	麻酔科学	900	③補委 文部科学省
ミトコンドリア呼吸鎖の低酸素性機能障害に対する麻酔薬の保護効果に関する研究	石崎卓	麻酔科学	1,100	③補委 文部科学省
敗血症肝不全誘発機序の基礎的解明	田上正	麻酔科学	2,500	③補委 文部科学省
アラーム機能を備えた医療機器の適正な使用と運用に関する実証的検証研究	柿沼孝泰	麻酔科学	1,300	③補委 文部科学省
口腔癌の顎骨浸潤・骨破壊に対するPTH・COX-2による新たな治療戦略	里見貴史	口腔外科学	1,100	③補委 文部科学省
ハイドロキシアパタイト骨補填材の骨親和性に対するCOX-2の役割	長谷川温	口腔外科学	1,100	③補委 文部科学省
舌痛と口腔乾燥の部位特異的評価により得られる治療法の確立	岡本彩子	口腔外科学	2,900	③補委 文部科学省
新規開発の定型化アプローチを用いた救急診療技術の伝承とIT応用手法の実践的研究	織田順	救急医学	2,800	③補委 文部科学省
複数領域の融合による、相互の納得を目的とした説明同意過程の標準化に関する研究	織田順	救急医学	1,200	③補委 文部科学省
放射線治療におけるイメージングバイオマーカーの有効性	中山秀次	放射線医学	2,500	③補委 文部科学省
医療面接における教員からの振り返りに対する検討	原田芳巳	総合診療科	800	③補委 文部科学省
初期臨床研修医に対するSNAPPSモデルを用いた外来診療能力の向上の検討	関正康	総合診療科	900	③補委 文部科学省
非小細胞肺癌におけるEGFRを標的としたナノ粒子によるオートファジー誘導療法	横山智央	臨床腫瘍科	1,000	③補委 文部科学省
我が国の医療機関における業務継続計画(BCP)策定率の改善・向上を図る取り組み	大原達美	病院管理部	2,200	③補委 文部科学省
肺癌に対するWT1ペプチド免疫療法の開発	池田徳彦	外科学1	300	③補委 厚生労働省
抹消小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究	佐治久	外科学1	1,000	③補委 厚生労働省
がん化パスイェネットワークが規定するがんの分子標的の解析並びに予後予測法の確立	加藤靖文	外科学1	2,000	③補委 厚生労働省

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	土田 明彦	外科学3	500	③補委 厚生労働省
手術摘出肝組織における微小転移の診断	土田 明彦	外科学3	1,000	③補委 厚生労働省
難治性稀少肺疾患(肺胞蛋白症、先天性間質性肺疾患、オスラー病)に関する調査研究	瀬戸口 靖弘	内科学1	1,400	③補委 厚生労働省
成人難治性白血病におけるバイオマーカーに基づく層別化治療法の確立	伊藤 良和	内科学1	1,000	③補委 厚生労働省
治験の実施に関する研究[エブレノン]	山科 章	内科学2	500	③補委 厚生労働省
門脈血行異常症に関する調査研究	森安 史典	内科学4	10,770	③補委 厚生労働省
ピロリ感染率減少時代における新しい対策型胃がん検診システム構築の検証に必要なプロトコール作成と実現可能性に関する研究	後藤田 卓志	内科学4	8,462	③補委 厚生労働省
難治性膵疾患に関する調査研究	糸井 隆夫	内科学4	500	③補委 厚生労働省
ベーチェット病に関する調査研究	後藤 浩	眼科学	1,000	③補委 厚生労働省
急性網膜壊死の診断基準に関する調査研究	後藤 浩	眼科学	1,000	③補委 厚生労働省
前庭機能異常に関する調査研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	14,154	③補委 厚生労働省
遺伝性難聴および外耳、中耳、内耳奇形に関する調査研究	鈴木 衛	耳鼻咽喉科学	1,000	③補委 厚生労働省
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の病態解析・診断・治療に関する研究	河島 尚志	小児科学	1,500	③補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	河島 尚志	小児科学	300	③補委 厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	山本 謙吾	整形外科	500	③補委 厚生労働省
新たな地域精神保健医療体制の構築のための実態把握および活動の評価等に関する研究	丸田 敏雅	精神医学	1,200	③補委 厚生労働省
生活習慣病予防活動・疾病管理による健康指標に及ぼす効果と医療費適正化効果に関する研究	織田 順	救急医学	600	③補委 厚生労働省
国内未承認エイズ治療薬等を用いたHIV感染症治療薬及びHIV感染症至適治療法の開発に係る応用研究	福武 勝幸	臨床検査医学	100,000	③補委 厚生労働省
エイズ対策研究事業の企画と評価に関する研究	福武 勝幸	臨床検査医学	2,520	③補委 厚生労働省
血友病とその治療に伴う合併症の克服に関する研究	稲葉 浩	臨床検査医学	1,200	③補委 厚生労働省
わが国のHIV感染者における慢性腎臓病の有病率と予後に関する研究	村松 崇	臨床検査医学	1,000	③補委 厚生労働省
我が国への侵入が危惧される蚊媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策の確立に関する研究	濱田 篤郎	渡航者医療センター	1,500	③補委 厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	池田 徳彦	外科学1	800	③補委 国立がん研究センター
個別化がん医療を目指した新規バイオマーカー開発	土田 明彦	外科学3	1,200	③補委 国立がん研究センター
血液サンプルを用いた、難治性固形癌のがん薬物療法の効果予測因子の臨床的有効性の検討	池田 徳彦	外科学1	800	③補委 近畿大学

小計 25件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助元又は委託元
科学的根拠に基づいた循環器診療評価指標の基盤体制構築に関する研究	荻野 均	外科学2	1,000	補 委 国立循環器病研究センター
循環器領域における感染対策および感染症の診療指針の確立に関する研究	荻野 均	外科学2	900	補 委 国立循環器病研究センター
加齢・認知症における脳皮質下病変の危険因子とその臨床的意義に関する縦断研究	岩本 俊彦	老年病学	1,500	補 委 国立長寿医療研究センター
多視点化による「共有する医療」の実現に向けた研究	行岡 哲男	救急医学	1,406	補 委 科学技術振興機構
献体による外傷手術臨床解剖学的研究会	本間 宙	救急医学	8,948	補 委 厚生労働省

小計 5件

合計 80件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
1	J Thoracic Imaging 27:W24-W2, 2012	High-resolution Computed Tomography Findings in a Case of Severe Leptospira Infection (Weil Disease) Complicated With Jarisch-Herxheimer Reaction	Hashimoto T	総合診療科
2	Helicobacter reserch	経鼻内視鏡を用いた上部消化管運動	河合 隆	総合診療科
3	Progress in Medicine	経鼻内視鏡を用いたグルカゴンの胃蠕動運動に及ぼす影響の検討	福澤 麻理	総合診療科
4	新薬と臨床	低容量アスピリン内服患者における経鼻内視鏡検査	羽山 弥毅	総合診療科
5	日本消化器病学会雑誌	中毒性巨大結腸症と麻痺性イレウスを合併した偽膜性腸炎の1例	青木 貴哉	総合診療科
6	Chest. 2012 May;141 (5) :1367-8.	Asthma severity is a risk factor for acute hypersensitivity reactions to contrast agents: a large-scale cohort study.	Kobayashi D	総合診療科
7	がんと化学療法。39: 415-419、2012	外来化学療法センター通院患者の精神症状に関する検討	横山智央	血液内科
8	がんと化学療法。39: 409-414、2012	外来化学療法センター通院患者の健康関連 quality of lifeに関する検討	横山智央	血液内科
9	東京医科大学雑誌。 79: 205-214、2012	本態性血小板血症におけるJAK2-V617F変異の臨床的意義：初診時の白血球増加とJAK2-V617F変異が有意な血栓症発症リスクである	岩淵多光子	血液内科
10	東京医科大学雑誌。 70:15-25、2012	外来化学療法センターにおける制吐薬の適正使用および医療経済に関する後方視的研究	阿部哲也	血液内科
11	Journal of Clinical Oncology, 30: 820- 829、2012	A new comprehensive cytogenetic scoring system for primary myelodysplastic syndromes and oligoblastic AML following MDS derived from an international database merge.	Schanz J	血液内科
12	The Japanese Journal of Antibiotics, 65:251-262、2012	Efficacy and safety of doripenem for sepsis with neutropenia in Japanese patients with hematologic diseases.	Akiyama N	血液内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
13	Blood Cancer Journal, 2012, 2: e53	Plasma miR-92a levels have clinical impact on multiple myeloma and related disorders.	Yoshizawa S	血液内科
14	BMC Medical Genetics, 2012, 13:6	The C allele of the JAK2 rs4495487, and additional candidate locus that contribute to MPN predisposition in Japanese population.	Ohyashiki JH	血液内科
15	International Journal of Hematology, 95: 409-419, 2012	Efficacy and safety of nilotinib in Japanese patients with imatinib-resistant of -intolerance Ph+ CML or relapsed/refractory Ph+ ALL: long-term extension (36 months) of a phase I/II study.	Usuki K*	血液内科
16	Haematologica, 97: 903-906, 2012	Discontinuation of imatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia.	Takahashi N*	血液内科
17	Leukemia Research, 36: 832-840, 2012.	Will a peripheral blood (PB) sample yield the same diagnostic and prognostic cytogenetic data as the concomitant bone marrow (BM) in myelodysplasia?	Cherry AM*	血液内科
18	British Journal of Haematology, 157 (2) :254-256, 2012.	Increased natural killer cells and decreased CD3+CD8+CD62L+ T cells in CML patients who sustained complete molecular remission after discontinuation of imatinib.	Ohyashiki K	血液内科
19	Annals of Hematology, 91:449-457, 2012	Efficacy and safety of Micafungin as an empiric antifungal therapy for suspected fungal infection in neutropenic patients with hematological disorders.	Yoshida M*	血液内科
20	Cancer Science, 103: 1839-1847, 2012	A phase I/II study of decitabine in patients with myelodysplastic syndrome: a multi-center study in Japan.	Oki Y*	血液内科
21	Stem Cells and Development, 21: 2939-2948, 2012	Effects of the hedgehog inhibitor GDC-0449, alone or in combination with dasatinib, on BCR-ABL-positive leukemia cells.	Okabe S	血液内科
22	Annals of Hematology, 91: 1987-1988, 2012	Successful cholecystectomy in a patient with aplastic anemia- paroxysmal nocturnal hemoglobinuria during eculizumab treatment.	Ando K	血液内科
23	International Journal of Hematology, 96: 481-491, 2012	Phase 1 trial of gemtuzumab ozogamicin in combination with enocitabine and daunorubicin for elderly patients with relapsed or refractory acute myeloid leukemia: Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG)-GML208 study.	Ito Y	血液内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
24	Cancer Science, 103: 1974-1978, 2012	Long-term outcome and prognostic factors of elderly patients with acute promyelocytic leukemia.	Ono T*	血液内科
25	Blood Cancer Journal, 2:e72, 2012	Prognostic factors influencing clinical outcome of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation following imatinib-based therapy in BCR-ABL-positive ALL.	Mizuta S	血液内科
26	International Journal of Hematology, 96:84-93, 2012	Randomized comparison of fixed-schedule versus response-oriented individualized induction therapy and use of ubenimex during and after consolidation therapy for elderly patients with acute myeloid leukemia: the JALSG GML200 Study.	Wakita A*	血液内科
27	Cancer Science, 103:1071-1078, 2012	Long-term outcome following imatinib therapy for chronic myelogenous leukemia, with assessment of dosage and blood levels: the JALSG CML202 study.	Ohnishi K†	血液内科
28	Japanese Journal of Antibiotics, 65:251-62, 2012	Efficacy and safety of doripenem for sepsis with neutropenia in Japanese patients with hematologic diseases.	Akiyama N*	血液内科
29	The Japanese Journal of Antibiotics, 65:271-287, 2012	A phase III study of the efficacy and safety of meropenem in patients with febrile neutropenia.	Imajo K*	血液内科
30	Net Genet. 25: 511-6, 2012	Mete-analysis identifies nine new loci associated with rheumatoid arthritis in the Japanese population.	Okada Y	リウマチ膠原病内科
31	Cancer Chemother Pharmacol 69 (5): 1197-1204, 2012	Randomized phase II study of gemcitabine and S-1 combination versus gemcitabine alone in the treatment of unresectable advanced pancreatic cancer (Japan Clinical Cancer Research Organization PC-01 study)	Ozaka M*	消化器内科
32	Gastrointest Endosc 75 (2): 362-372, 2012	A multicenter, prospective, randomized study of selective bile duct cannulation performed by multiple endoscopists: the BIDMEN study	Kawakami H*	消化器内科
33	Gastrointest Endosc 75 (2): 441-449, 2012	Diagnostic and therapeutic peroral direct cholangioscopy in patients with altered GI anatomy (with videos)	Itoi T	消化器内科
34	Hepatogastroenterology 59 (113): 272-275, 2012	Single nucleotide polymorphism of multidrug-resistance 1 and anti-multidrug-resistance 1 single chain antibody treatment for the pancreatic cancer cell line	Kasuya K	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
35	J Ultrasound Med 31 (4) : 529-538, 2012	Comparison of kupffer-phase sonazoid-enhanced sonography and hepatobiliary-phase gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging of hepatocellular carcinoma and correlation with histologic grading	Sugimoto K	消化器内科
36	Gastrointest Endosc 75 (4) : 870-876, 2012	Clinical evaluation of a novel lumen-apposing metal stent for endosonography-guided pancreatic pseudocyst and gallbladder drainage (with videos)	Itoi T	消化器内科
37	Hepatogastroenterology 59 (114) : 336-340, 2012	Contrast-enhanced ultrasonography in the diagnosis of gallbladder disease	Tsuji S	消化器内科
38	Clin Gastroenterol Hepatol 10 (3) : 316-322, 2012	Use of samples from endoscopic ultrasound-guided 19-gauge fine-needle aspiration in diagnosis of autoimmune pancreatitis	Iwashita T*	消化器内科
39	Oncogene 31 (14) : 1771-1780, 2012	Promotion of cytoplasmic mislocalization of p27 by Helicobacter pylori in gastric cancer	Wen S*	消化器内科
40	Intern Med 51 (1) : 9-15, 2012	A multicenter study to clarify the optimal HCV-RNA negative period during combined therapy with pegylated interferon plus ribavirin in patients with chronic hepatitis caused by HCV genotype 2	Nagoshi S*	消化器内科
41	Hepatogastroenterology 59 (115) : 709-712, 2012	Novel protective lead shield and pulse fluoroscopy can reduce radiation exposure during the ERCP procedure	Kurihara T	消化器内科
42	J Gastroenterol Hepatol 27 Suppl 3 : 34-39, 2012	Narrow-band imaging on screening of esophageal lesions using an ultrathin transnasal endoscopy	Kawai T	消化器内科
43	J Gastroenterol Hepatol 27 Suppl 3 : 76-81, 2012	Correlation between Helicobacter pylori infection and low-dose aspirin use on damage of the upper gastrointestinal tract	Fukuzawa M	消化器内科
44	Eur Radiol 22 (6) : 1205-1213, 2012	Assessment of arterial hypervascularity of hepatocellular carcinoma: comparison of contrast-enhanced US and gadoxetate disodium-enhanced MR imaging	Sugimoto K	消化器内科
45	Hepatogastroenterology 59 (116) : 981-985, 2012	Comparison of preoperative images with gross and histopathological findings of liver slices in patients with liver metastases from colorectal cancer after chemotherapy	Kasuya K	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
46	Hepatogastroenterology 59(117): 1350-1353, 2012	Novel biopsy forceps for diagnosis of biliary tract diseases during endoscopic retrograde cholangiopancreatography: A prospective comparative study with 90° adjustable and conventional biopsy forceps	Ishii K	消化器内科
47	Hepatogastroenterology 59(117): 1609-1613, 2012	Prediction of a side effect and efficacy of adjuvant chemotherapy with gemcitabine for post operative patient of pancreatic cancer by a genetic polymorphism analysis	Kasuya K	消化器内科
48	J Med Imaging Radiat Oncol 56(3): 261-269, 2012	Histological grade of differentiation of hepatocellular carcinoma: Comparison of the efficacy of diffusion-weighted MRI with T2-weighted imaging and angiography-assisted CT	Saito K	消化器内科
49	Gastrointest Endosc 76(1): 84-92, 2012	Comparison of partially covered nitinol stents with partially covered stainless stents as a historical control in a multicenter study of distal malignant biliary obstruction: the WATCH study	Isayama H*	消化器内科
50	Gastrointest Endosc 76(2): 454-457, 2012	Free-hand direct insertion ability into a simulated ex vivo model using a prototype multibending peroral direct cholangioscope (with videos)	Itoi T	消化器内科
51	Magn Reson Med Sci 11(3): 163-169, 2012	MR characterization of focal nodular hyperplasia: Gadoteric acid versus superparamagnetic iron oxide imaging	Saito K	消化器内科
52	World J Gastroenterol 18(28): 3721-3726, 2012	Assessment of the validity of the clinical pathway for colon endoscopic submucosal dissection	Aoki T	消化器内科
53	J Hepatobiliary Pancreat Sci 19(5): 543-547, 2012	Evaluation of effects of a novel endoscopically applied radiofrequency ablation biliary catheter using an ex-vivo pig liver	Itoi T	消化器内科
54	Exp Ther Med 3(2): 347-350, 2012	Administration of anti-vascular endothelial growth factor antibody following hepatectomy does not inhibit remnant liver regeneration or growth of remnant metastases	Kasuya K	消化器内科
55	Exp Ther Med 3(4): 599-602, 2012	Combination therapy of gemcitabine or oral S-1 with the anti-VEGF monoclonal antibody bevacizumab for pancreatic neuroendocrine carcinoma	Kasuya K	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
56	J Hepatobiliary Pancreat Sci 19(5): 548-556, 201	New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholangitis in revised Tokyo Guidelines	Kiriyama S*	消化器内科
57	J Hepatobiliary Pancreat Sci 19(5): 578-585, 2012	New diagnostic criteria and severity assessment of acute cholecystitis in revised Tokyo Guidelines	Yokoe M*	消化器内科
58	J Dig Dis 13(12): 634-641, 2012	Flexible imaging color enhancement improves visibility of transnasal endoscopic images in diagnosing esophageal varices: A multicenter prospective blinded study	Furuichi Y	消化器内科
59	J Ultrasound Med 31(12): 1909-1916, 2012	Quantification in molecular ultrasound imaging: a comparative study in mice between healthy liver and a human hepatocellular carcinoma xenograft	Sugimoto K	消化器内科
60	Hepato Res 42(12): 1211-1220, 2012	Prognostic factors in patients with idiopathic portal hypertension: Two Japanese nationwide epidemiological surveys in 1999 and 2005	Murai Y*	消化器内科
61	Gastrointest Endosc 76(6): 1188-1196, 2012	Stepwise training in rectal and colonic endoscopic submucosal dissection with differentiated learning curves	Iacopini F*	消化器内科
62	Gastric Cancer 15(3): 338-342, 2012	Successful application of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery (LECS) for a lateral-spreading mucosal gastric cancer	Nunobe S*	消化器内科
63	Endoscopy 44(3): 236-246, 2012	A multicenter validation of an endoscopic classification with narrow band imaging for gastric precancerous and cancerous lesions	Pimentel-Nunes P*	消化器内科
64	Am J Surg Pathol 36(1): 56-65, 2012	Histologic and immunohistochemical analyses of α -fetoprotein-producing cancer of the stomach	Kinjo T*	消化器内科
65	Dig Dis Sci 57(2): 435-439, 2012	A multicenter survey of the management after gastric endoscopic submucosal dissection related to postoperative bleeding	Goto O*	消化器内科
66	Gastric Cancer 15(1): 70-75, 2012	Multicenter study of the long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients 80 years of age or older	Abe N*	消化器内科
67	Pancreas 41(6): 869-875, 2012	Validity of Urinary trypsinogen-2 test in the diagnosis of acute pancreatitis	Mayumi T*	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
68	Journal of Gastroenterology and Hepatology Research 1 (1) : 233-240, 2012	New advances in contrast-enhanced ultrasonography for pancreatic disease- Usefulness of the new generation contrast agent and contrast-enhanced ultrasonographic imaging method-	Sofuni A	消化器内科
69	JOP 13 (1) : 7-17, 2012	EUS-guided biliary drainage: a review article	Artifon EL*	消化器内科
70	Gastrointest Endosc Clin N Am 22 (2) : 371-377, 2012	EUS-Guided Anastomosis	Itoi T	消化器内科
71	Dig Endosc 24 Suppl 1: 8-16, 2012	Management of benign strictures of the extrahepatic bile duct due to chronic pancreatitis and surgical intervention	Itoi T	消化器内科
72	Gastrointest Interv 1: 30-35, 2012	History of endoscopic submucosal dissection and role for colorectal endoscopic submucosal dissection: A Japanese perspective	Fukuzawa M	消化器内科
73	Gastroenterological Endoscopy 54 (4) : 1492-1497, 2012	大結石に対するEST+ラージバルーン法	糸井 隆夫	消化器内科
74	胆道 26 (2) : 237-242, 2012	胆道専門医講座◎鑑別診断が困難な症例の取り扱い 第2回中下部胆管 鑑別困難な中下部胆管病変の取り扱い	糸井 隆夫	消化器内科
75	日本腹部救急医学会雑誌 32 (3) : 647-649, 2012	急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドラインを検証する-改訂に向けてのプロセスと課題- : 急性胆道炎に対する内視鏡治療の進歩と課題	糸井 隆夫	消化器内科
76	胆道 26 (4) : 550-558, 2012	ERCPと胆管Stenting 基本と困難例への対処	糸井 隆夫	消化器内科
77	Hepatogastroenterology 59 (114) : 659-663, 2012	Mucin phenotypes and macroscopic shape of multiple hyperplastic polyps together with two carcinomas in the stomach	Mizuguchi Y	消化器内科
78	Gastric Cancer 15 (2) : 221-225, 2012	A case of lymph node metastasis following a curative endoscopic submucosal dissection of an early gastric cancer	Oya H*	消化器内科
79	Endoscopy 44 Suppl 2: E160-161, 2012	Tumor seeding after endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration of cancer in the body of the pancreas	Katanuma A*	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
80	Gastrointest Endosc 75(5): 1099-1100, 2012	Hepatobiliary cystadenoma of the liver prolapsing into the extrahepatic bile duct (with video)	Abe Y	消化器内科
81	World J Gastroenterol 18(28): 3761-3764, 2012	Computed tomography virtual endoscopy with angiographic imaging for the treatment of type IV-A choledochal cyst	Tsuchida A	消化器内科
82	肝臓 53(1): 55-63, 2012	肝細胞癌術後10年目に、手術断端より仮性動脈瘤を形成した1例	浅野 岳晴*	消化器内科
83	日消誌 109: 1386-1393, 2012	中毒性巨大結腸症と麻痺性イレウスを合併した偽膜性腸炎の1例	青木 貴哉	消化器内科
84	Gastrointest Endosc 76(2): 469-470, 2012	Letter to the editor: Response. Refers to the comments of Goldberg E & Darwin P	Itoi T	消化器内科
85	Gastrointest Endosc 76(5): 1075-1076, 2012	Letter to the editor: Response. Refers to the comments of Matsushita M et al	Itoi T	消化器内科
86	Dig Dis Sci 57(2): 266-268, 2012	Editorial: Optimal duration of proton pump inhibitor for healing artificial ulcers after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer	Gotoda T	消化器内科
87	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 25-26, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 司会者統括 膵胆道疾患における内視鏡治療の基本と応用	糸井 隆夫	消化器内科
88	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 37-38, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 司会者統括 ESDに纏わるトラブルシューティング	後藤田卓志	消化器内科
89	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 15, 148-149, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 症例 IVRにて止血し得たEST後出血の1例	安西 秀聡*	消化器内科
90	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 10, 112-113, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 症例 骨髄異形性症候群に早期胃癌と直腸癌の重複癌を合併した1例	草野 央	消化器内科
91	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 14, 140-141, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 症例 出血性放射線性直腸炎に bipolar止血鉗子が有効であった1例	池宮城秀和*	消化器内科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
92	Progress of Digestive Endoscopy 81(2): 2, 67-70, 2012	第94回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集: 臨床研究 当院における急性出血性直腸潰瘍の臨床的特徴	西中川秀太	消化器内科
93	J Gastroenterol. 2012 Nov 10. [Epub ahead of print]	Noninvasive diagnostic method for idiopathic portal hypertension based on measurements of liver and spleen stiffness by ARFI elastography	Furuichi Y	消化器内科
94	J Gastroenterol. 2012 Nov 6. [Epub ahead of print]	Extrahepatic bile duct measurement by using transabdominal ultrasound in Japanese adults: multi-center prospective study	Itoi T	消化器内科
95	J Gastroenterol. 2012 Nov 10. [Epub ahead of print]	Comparison of long-term outcomes after endoscopic sphincterotomy versus endoscopic papillary balloon dilation: a propensity score-based cohort analysis	Doi S*	消化器内科
96	Eur J Neurol 19:905-910, 2012	Telomere length shortening in patients with dementia with Lewy bodies.	Kume K	高齢診療科
97	J Gerontol A Biol Sci Med Sci 67:330-335, 2012	Association between ApoE phenotype and telomere erosion in Alzheimer disease. J Gerontol A Biol Sci Med Sci 2012; 67:330-335	Takata Y	高齢診療科
98	Parkinsonism & Related Disorders 18:136-139, 2012	Voxel-based magnetic resonance imaging study of structural brain changes in patients with idiopathic REM sleep behavior disorder.	Hanyu H	高齢診療科
99	J Neurol Sci 323:71-76, 2012	Differences in cortical benzodiazepine receptors in Alzheimer, vascular, and mixed dementia patients.	Hanyu H	高齢診療科
100	Geriatr Gerontol Int 12:207-214, 2012	Effects of telmisartan on cognition and regional cerebral blood flow in hypertensive patients with Alzheimer disease.	Kume K	高齢診療科
101	J Am Geriatr Soc 2012;60:594-596	Differentiation of dementia with Lewy bodies from Alzheimer's disease using the Japanese version of the Test Your Memory.	Sato T	高齢診療科
102	日老医誌 49:250-252, 2012	新しいCGA initiative開発のためのうつ評価の短縮。	山川仁子	高齢診療科
103	日老医誌 2012;49:27-32	高齢者の医療と介護福祉への期待。日老医誌 2012;49:27-32	高崎 優	高齢診療科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
104	日老医誌 49:284-287, 2012	高齢者認知症をめぐる新たな展開と諸問題。生活習慣病からの対応生活習慣病からの対応。日本老年医学会雑誌 49:284-287, 2012	羽生春夫	高齢診療科
105	Dementia Japan 26:274-283, 2012	糖尿病とADの関連—認知症専門医の立場から。	羽生春夫	高齢診療科
106	Geriatr Med 50: 1070-1075, 2012	医療現場における高齢者総合的機能評価 (CGA) 簡易版「Dr. SUPERMAN」の有用性の検討。	岩本俊彦	高齢診療科
107	Geriatr Gerontol Int 9: 16-20, 2012	Effects of cilostazol on cognition and regional cerebral blood flow in patients with Alzheimer's disease and cerebrovascular disease: a pilot study	Sakurai H	高齢診療科
108	Geriatr Gerontol Int. 2012 Dec 21 Epub	Preoperative prediction of macrophage infiltration by 3-D tomographic ultrasound in endarterectomized carotid plaques in elderly patients	Koyama S	高齢診療科
109	Geriatr Gerontol Int 2013; 13: 555-562	Rate of progression of Alzheimer's disease in younger versus older patients - A longitudinal single-photon emission computed tomography study.	Sakai M	高齢診療科
110	J Neurol Sci 2012; 317: 106-112	Isoform-specific immunolocalization of 14-3-3 proteins in atherosclerotic lesions of human carotid and main cerebral arteries	Umahara T	高齢診療科
111	Geriatr Gerontol Int 2012 ; 12: 586-599	A structure-oriented review of 14-3-3 protein isoforms in geriatric neuroscience.	Umahara T	高齢診療科
112	日本老年医学会雑誌 2012; 49: 241-249	新しいCGA initiative「Dr. SUPERMAN」開発のための認知機能評価の短縮化。	岩本俊彦	高齢診療科
113	日本老年医学会雑誌 2012; 49: 589-596	新たに考案した起立・バランステストが Timed Up and Go testに代用できるか—CGA initiative「Dr. SUPERMAN」開発のための歩行・バランス機能評価	岩本俊彦	高齢診療科
114	J Am Geriatr Soc. 2012 Mar; 60(3): 594-6	Differentiation of Dementia with Lewy Bodies from Alzheimer's Disease Using the Japanese Version of the Test Your Memory	Sato H	高齢診療科
115	Sleep Med 13(9): 1164-1170, 2012	Melatonin profile and its relation to circadian rhythm sleep disorders in Angelman syndrome patients	Takaesu Y.	メンタルヘルス科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
116	Personality and Mental Health, 6 (3) : 266-270, 2012	Avoidant Personality Disorder	Maruta T.	メンタルヘルス科
117	精神科 22 (3) : 341-346, 2103	代替フロンガス吸入により高次脳機能障害を呈した1例	春日 悠貴	メンタルヘルス科
118	精神医学 55 (2) : 185-192	DSM-5発刊前の最新動向-フィールドトライアルの結果を中心に	松本ちひろ	メンタルヘルス科
119	Sleep Biol Rhythms 10 (3) : 187-194, 2012	Factors associated with severity of daytime sleepiness and indications for initiating treatment in patients with periodic limb movements during sleep	Sakuta K.	メンタルヘルス科
120	Intern Med 51 (4) : 413-417, 2012	Possible mechanism of secondary narcolepsy with a long sleep time following surgery for craniopharyngioma	Sakuta K.	メンタルヘルス科
121	Lung Cancer 75 (3) : 368-373, 2012	Clinical features of unresectable high-grade lung neuroendocrine carcinoma diagnosed using biopsy specimens	Shimada Y.	呼吸器外科・甲状腺外科
122	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals 20 (3) : 308-313, 2012	Extended indications of robotic surgery for posterior mediastinal tumors	Kajiwara N.	呼吸器外科・甲状腺外科
123	Surgery Today 42 (9) : 899-902, 2012	An intrapericardial foregut cyst: report of a thoroscopically resected case	Kudo Y.	呼吸器外科・甲状腺外科
124	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery 42 (3) : 414-419, 2012	Do tumors located in the left lower lobe have worse outcome in lymph node-positive non-small cell lung cancer than tumors in other lobes?	Kudo Y.	呼吸器外科・甲状腺外科
125	Biochemical and Biophysical Research Communications 420 (2) : 411-416, 2012	Isolation of miRNAs that target EGFR mRNA in human lung cancer	Yamaguchi G.	呼吸器外科・甲状腺外科
126	W Waves 日本癌病態治療研究会誌 18 (1) : 25-27, 2012	肺癌に対する標準手術の確立の歴史：現在の対比	池田 徳彦	呼吸器外科・甲状腺外科
127	J Thorac Oncol 7 (8) : 1263-1270, 2012	Pathological vascular invasion and tumor differentiation predict cancer recurrence in stage IA non-small-cell lung cancer after complete surgical resection	Shimada Y.	呼吸器外科・甲状腺外科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
128	日本外科学会雑誌 113 (5) : 463-466, 2012	肺がんを疑う末梢孤立性病変への対応 経 気管鏡・経皮生検の現状	臼田 実男	呼吸器外科・甲状腺 外科
129	日本外科学会雑誌 113 (5) : 469-471, 2012	手術の tips and pitfalls : 甲状腺癌気管 浸潤例における気管切除-管状切除・端々 吻合術-	筒井 英光	呼吸器外科・甲状腺 外科
130	Lung Cancer 78 (2) : 153-160, 2012	Impact of visceral pleural invasion on the survival of patients with non-small cell lung cancer	Kudo Y.	呼吸器外科・甲状腺 外科
131	Skeletal Radiol 41 (12) : 1641-1644, 2012	A case of paravertebral mediastinal chordoma without bone destruction	Matsubayashi J.	呼吸器外科・甲状腺 外科
132	Int J Proteomics 2012: 921901, 2012	Cancer phenotype diagnosis and drug efficacy within Japanese health care	Nishimura T.	呼吸器外科・甲状腺 外科
133	光学 41 (11) : 556- 560, 2012	光線力学的治療の基礎と臨床の現状	臼田 実男	呼吸器外科・甲状腺 外科
134	World J Surg 36 (12) : 2865-2871, 2012	Retrospective analysis of nodal spread patterns according to tumor location in pathological N2 non-small cell lung cancer	Shimada Y.	呼吸器外科・甲状腺 外科
135	Experimental and Therapeutic Medicine 3 (1) : 53-59, 2012	A population-based study of gefitinib in patients with postoperative recurrent non-small cell lung cancer	Furukawa K.	呼吸器外科・甲状腺 外科
136	Asian J Endosc Surg 6 (1) : 9-13, 2013	Recent advances in video-assisted thoroscopic surgery for lung cancer	Ikeda N.	呼吸器外科・甲状腺 外科
137	Ann Thorac Cardiovasc Surg 19 (1) : 41279, 2013	Three Dimensional Computed Tomography Lung Modeling is Useful in Simulation and Navigation of Lung Cancer Surgery	Ikeda N.	呼吸器外科・甲状腺 外科
138	日本外科学会雑誌 114 (2) : 114-116, 2013	手術のtips and pitfalls 肺尖部肺癌 (Pancoast肺癌) の手術の要点	池田 徳彦	呼吸器外科・甲状腺 外科
139	気管支学 35 (2) : 215-219, 2013	胸腔鏡で確定診断に至った壁側胸膜再発腎 細胞癌の1例	山口 学	呼吸器外科・甲状腺 外科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
140	Experimental and Therapeutic Medicine 3: 226-230, 2012	Concurrent use of Sr-89 chloride with zoledronic acid is safe and effective for breast cancer patients with painful bone metastases	Yamada K.	乳腺科
141	東京医科大学雑誌 70(2): 241-250, 2012	転移性骨腫瘍の原発診断に難渋した、乳癌術後症例	山田 公人	乳腺科
142	International Journal of Oncology 40: 1029-1039, 2012	Clarithromycin enhances bortezomib-induced cytotoxicity via endoplasmic reticulum stress-mediated CHOP (GADD153) induction and autophagy in breast cancer cells	Komatsu S.	乳腺科
143	Journal of Bone Oncology 1: 40-46, 2012	Stathmin is involved in the cooperative effect of Zoledronic acid and gefitinib on bone homing breast cancer cells in vitro	Oda M.	乳腺科
144	Cancer Science 103(6): 1172-1176, 2012	High levels of DJ-1 protein in nipple fluid of patients with breast cancer	Oda M.	乳腺科
145	Gland Surgery 1(3): 164-166, 2012	Evaluating the feasibility of extended partial mastectomy and immediate reduction mammoplasty reconstruction as an alternative to mastectomy	Yamada K.	乳腺科
146	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 6403-10, 2012	Intraocular VEGF level as a risk factor for postoperative complications after vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy	Wakabayashi Y.	眼科
147	J Neuro-Ophthalmol 32: 107-110, 2012	Relationship between NMO-antibody and anti-MOG antibody in optic neuritis	Kezuka T.	眼科
148	J Glaucoma. 2012; DOI: 10.1097/IJG.0b013e31826a7e09	Incidence of deepening of the upper eyelid sulcus after topical use of travoprost ophthalmic solution in Japanese.	Maruyama K.	眼科
149	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. Epub 22527328 2012	Correlation of complement fragment C5a with inflammatory cytokines in the vitreous of patients with proliferative diabetic retinopathy	Muramatsu D.	眼科
150	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 5395-5402, 2012	Immune mediators in vitreous fluids from patients with vitreoretinal B cell lymphoma	Usui Y.	眼科
151	J Leukoc Biol. 91: 621-627. Epub 2012	Donor-derived, tolerogenic dendritic cells suppress immune rejection in the indirect allosensitization-dominant setting of corneal transplantation	Hattori T.	眼科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
152	Jpn J Ophthalmol 56: 383-389, 2012	The Japanese Intraocular Lymphoma Study Group. clinical features and diagnostic significance of the intraocular fluid of 217 patients with intraocular lymphoma	Kimura K.	眼科
153	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 6964-71, 2012	Visual functional and histopathological correlation in experimental autoimmune optic neuritis	Matsunaga Y.	眼科
154	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 4910-4916, 2012	Proliferative vitreoretinopathy in the Swine—a new model	Umazume K.	眼科
155	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 5475-85, 2012	Suppression of murine experimental autoimmune optic neuritis by mature dendritic cells transfected with calcitonin gene-related Peptide gene	Matsuda R.	眼科
156	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 7235-45, 2012	Interleukin-10 genetransfected mature dendritic cells suppress murine experimental autoimmune optic neuritis	Matsuda R.	眼科
157	臨眼 66: 427-432, 2012	Hughes変法による悪性癌眼腫瘍の治療	後藤 浩	眼科
158	臨床眼科 66: 443-448, 2012	近赤外ハイパースペクトルイメージング装置を用いたポリープ状脈絡膜血管症の画像化	村松 大武	眼科
159	眼科臨床紀要 5: 784-788, 2012	網膜静脈分岐閉塞に伴う黄斑浮腫に対する初回ベバシズマブ硝子体注射と網膜光凝固併用療法の長期成績	村松 大武	眼科
160	日本眼科学会雑誌 116: 503-509, 2012	結膜悪性黒色腫11例の臨床像と治療予後	木村 圭介	眼科
161	臨床眼科 66: 545-551, 2012	ステロイド大量療法に抵抗した視神経炎に対する血漿交換療法	松田 隆作	眼科
162	あたらしい眼科 29: 249-252, 2012	網膜循環障害を合併し予後不良であった交感性眼炎の1例	奥貫 陽子	眼科
163	眼科 54: 81-84, 2012	膨化、変性したMIRAgel (R)を眼瞼から経皮的に摘出した1例	権藤さやか	眼科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
164	眼科臨床紀要 5: 847-850, 2012	裂孔原生網膜剥離を併発した後天性網膜血管腫の1例	成松 明知	眼科
165	眼科 54: 1967- 1971, 2012	眼窩に転移後、長期にわたって生存した乳癌の2症例	片平晴己	眼科
166	あたらしい眼科 30: 107-111, 2013	線維柱帯切除術後の晚期房水漏出に対する経結膜的強膜縫合の成績	有本 剛	眼科
167	Cornea 32:615- 618, 2013	Depiction of cavity formation in Terrien marginal degeneration by anterior segment optical coherence tomography	Hattori T.	眼科
168	J Neuro-Ophthalmol 33: 143-148, 2013	Suppression of experimental autoimmune optic neuritis by the novel agent fingolimod	An X.	眼科
169	眼科手術 26: 294-298, 2013	傾斜乳頭症候群にポリープ状脈絡膜血管症と裂孔原生網膜剥離を併発した1例	熊谷絵梨子	眼科
170	Retina 33: 1020- 1025, 2013	Effects of soluble CD14 and cytokine levels on diabetic macular edema and visual acuity	Umazume K.	眼科
171	臨床眼 67: 443- 448, 2013	網膜静脈分岐閉塞に伴う黄斑浮腫に対するベバシズマブ連続注射と光凝固併用療法	村松 大弐	眼科
172	日本コンタクトレンズ学会誌 55: 7-13, 2013	円錐角膜患者に対して前眼部光干渉断層計(OCT)型角膜トポグラファーを用いて処方されたハードコンタクトレンズの検討	森 秀樹	眼科
173	眼科 55 : 399- 403, 2013	傍眼の視機能に配慮したHughes法による眼瞼脂腺癌の治療	三橋 良輔	眼科
174	Invest Ophthalmol Vis Sci 53: 4158- 4169, 2012	Aminoimidazole carboxamide ribonucleotide ameliorates experimental autoimmune uveitis	Suzuki J.	眼科
175	J Voice 26: 548- 554, 2012	Analysis of high-pitched phonation using three-dimensional computed tomography	Hiramatsu H.	耳鼻咽喉科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
176	Acta Otolaryngol 132:228-233, 2012	Changes in the cupula after disruption of the membranous labyrinth	Kondo T.	耳鼻咽喉科
177	J Voice. 2012 Mar 13. [Epub ahead of print]	Analysis of pitch range after arytenoid adduction by fenestration approach combined with type I thyroplasty for unilateral vocal fold paralysis	Tokashiki R.	耳鼻咽喉科
178	Otol Neurotol 33:1151-1155, 2012	Vestibular system changes in sudden deafness with and without vertigo: A human temporal bone study	Inagaki T.	耳鼻咽喉科
179	J Vestib Res 22:205-211, 2012	Subjective visual vertical perception in patients with vestibular neuritis and sudden sensorineural hearing loss	Ogawa Y.	耳鼻咽喉科
180	Auris Nasus Larynx 9:298-300, 2012	Diagnosis of congenital cervical cysts using carcinoembryonic antigen levels in cyst fluid	Konomi U.	耳鼻咽喉科
181	耳展 55 : 321-323, 2012	三次元構築ソフトによる側頭骨解剖学習支援の試み	鈴木 衛	耳鼻咽喉科
182	Equilibrium Res 71:23-32, 2012	人工内耳手術後の前庭機能とめまい症状の変化	古瀬 寛子	耳鼻咽喉科
183	頭頸部癌 38 : 80- 83, 2012	頭頸部癌化学療法における末梢挿入型中心静脈カテーテルの初期使用経験	清水 顕	耳鼻咽喉科
184	口腔咽頭科 25 : 229-234, 2012	経口腔ロボット支援手術の臨床応用に向けて	清水 顕	耳鼻咽喉科
185	耳展 55 : 374-376, 2012	当科での経口腔ロボット支援手術の臨床応用	清水 顕	耳鼻咽喉科
186	日気食会報 63: 211- 215, 2012	咽喉頭酸逆流症の診断におけるPPIテストの感度と特異度	中村 一博	耳鼻咽喉科
187	日気食会報 63: 181- 186, 2012	診療所における気管食道科診療の工夫 外来日帰り局所麻酔下喉頭内視鏡下手術を診療所で施行するための工夫	中村 一博	耳鼻咽喉科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
188	Equilibrium Res 71: 78-86, 2012	末梢性めまい症例における腹臥位眼振検査の検討	稲垣 太郎	耳鼻咽喉科
189	頭頸部癌 38: 60-63, 2012	副咽頭間隙腫瘍に対しナビゲーションシステム下に穿刺吸引細胞診を施行した症例	岡本 伊作	耳鼻咽喉科
190	耳鼻臨床 105: 417-422, 2012	小児顔面神経麻痺の29例	小林 賀子	耳鼻咽喉科
191	嚥下医学 1: 393-399, 2012	開頭術後の嚥下障害とリハビリテーションの効果	岡田 拓朗	耳鼻咽喉科
192	耳鼻臨床 105: 925-931, 2012	外リンパ瘻を疑い手術を施行した6例の検討	白井 杏湖	耳鼻咽喉科
193	日気食会報 63: 466-470, 2012	屈曲したカテラン針を用いて行う甲状舌骨間経由の声帯内注入術	渡嘉敷亮二	耳鼻咽喉科
194	日本補完代替医療学会誌 9: 9-17, 2012	ハーブティー療法を施行したメニエール病患者のQOLについて	北島 尚治	耳鼻咽喉科
195	頭頸部外科 21: 255-258, 2012	下咽頭喉頭全摘頸部食道切除における気管傍郭清の工夫—頸部気管を栄養する血管系の温存と気管孔の状態について—	三浦 弘規*	耳鼻咽喉科
196	J Dermatol 39: 113-120, 2012.	Guidelines for the management of androgenetic alopecia (2010).	Tsuboi R	皮膚科
197	Antimicrob Agents Chemother 56: 3138-3143, 2012.	Short-term therapy with luliconazole, a novel topical antifungal imidazole, in guinea pig models of tinea corporis and tinea pedis.	Koga H*	皮膚科
198	J Invest Dermatol 132: 2800-2809, 2012.	The endogenous protease inhibitor TIMP-1 mediates protection and recovery from cutaneous photodamage.	Yokose U*	皮膚科
199	Ann Oncol 23: 2703-2707, 2012.	Extranodal natural killer/T-cell lymphoma from skin or soft tissue: suggestion of treatment from multinational retrospective analysis.	Ahn HK*	皮膚科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
200	J Dermatol Sci 66: 244-245, 2012.	Eleven novel mutations of the ADAR1 gene in dyschromatosis symmetrica hereditaria.	Kawaguchi M*	皮膚科
201	J Dermatol 39: 889-890, 2012.	Highly sensitive high-pressure liquid chromatography with ultraviolet light method detected the reduction of serum nitrite/nitrate levels after cold exposure in patients with Raynaud's phenomenon.	Tanaka A*	皮膚科
202	J Dermatol 39: 823-828, 2012.	Phase I and pharmacokinetic study of the oral histone deacetylase inhibitor vorinostat in Japanese patients with relapsed or refractory cutaneous T-cell lymphoma.	Wada H*	皮膚科
203	Mod Rheumatol 22: 249-255, 2012.	Response to hydroxychloroquine in Japanese patients with systemic lupus erythematosus using the cutaneous lupus erythematosus disease area and severity index (CLASI)	Yokogawa N*	皮膚科
204	J Immunol 188: 5428-5438, 2012.	Stem cell factor programs the mast cell activation phenotype.	Ito T	皮膚科
205	Arch Dermatol Res 304: 217-222, 2012.	Pirfenidone suppresses keloid fibroblast-embedded collagen gel.	Saito M	皮膚科
206	J Dermatol 39: 449-453, 2012.	Nephrogenic systemic fibrosis: A case report and review on Japanese patients.	Matsumoto Y	皮膚科
207	Eur J Dermatol 22: 269-270, 2012.	Herpetiform pemphigus with anti-Dsg 1 and full-length BP180 autoantibodies.	Kurashige Y	皮膚科
208	J Dermatol 39: 1037-1038, 2012.	Two cases of malignant melanoma of the toe developed skin ulcers following local injection of natural beta-interferon.	Kurashige Y	皮膚科
209	Eur J Dermatol 22: 553-555, 2012.	Primary mucinous carcinoma of the skin arising from an in situ component.	Kurashige Y	皮膚科
210	J Am Acad Dermatol 67: 1163-1173, 2012.	Multivariate analysis of prognostic factors in patients with rapidly progressive alopecia areata.	Uchiyama M	皮膚科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
211	J Dermatol 39: 76-79, 2012.	Elderly cases of Churg-Strauss syndrome: Case report and review of Japanese cases.	Uchiyama M	皮膚科
212	Int J Dermatol 51: 50-52, 2012.	Eosinophilic pustular folliculitis (Ofuji's disease) without macroscopic pustules.	Uchiyama M	皮膚科
213	J Biol Chem 287: 32825-32834, 2012.	Kallikrein-related peptidase-7 regulates caspase-14 maturation during keratinocyte terminal differentiation by generating an intermediate form.	Yamamoto M	皮膚科
214	J Dermatol 39: 736-738, 2012.	Propylthiouracil-induced antineutrophil cytoplasmic antibody positive vasculitis clinically mimicking pyoderma gangrenosum.	Wakamatsu K	皮膚科
215	J Dermatol 39: 401-403, 2012.	Novel mutation in the ATP2A2 gene in a Japanese Darier's disease patient with extremely hyperkeratotic lesions.	Miyabe C	皮膚科
216	Microbiol Immunol 56: 238-244, 2012.	Characterization of Malassezia microbiota in the human external ear canal and on the sole of the foot.	Zhang E	皮膚科
217	Aesthe Derma 22: 124-143, 2012.	美容皮膚科診療に関する実態調査ー日本美容皮膚科学会および日本臨床皮膚科医会の会員1132例におけるアンケート調査ー.	古川 福実*	皮膚科
218	Aesthe Derma 22: 40-49, 2012.	尋常性ざ瘡を対象とした20%アゼライン酸クリーム (DRX AZAクリア) の基剤対照評価者盲検無作為化左右比較試験.	林 伸和*	皮膚科
219	日レ病会誌 3: 78-80, 2012.	レックリングハウゼン病の遺伝カウンセリング~病気の告白について難渋した例~.	内山 真樹	皮膚科
220	日皮会誌 122: 619-623, 2012.	東京医科大学病院におけるHIV感染者に発症した帯状疱疹70症例の検討.	宝田 英子	皮膚科
221	皮膚診療 34: 1237-1241, 2012.	東京医大病院皮膚科におけるHIV患者に生じた尖形コンジローマの検討.	白井 浩平	皮膚科
222	Med. Mycol. J 53: 109-116, 2012.	皮膚科後期研修医のための真菌症教育.	望月 隆*	皮膚科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
223	褥瘡会誌 14: 165-226, 2012.	褥瘡予防・管理ガイドライン(第3版).	坪井 良治	皮膚科
224	小児内科 44: 928-929, 2012.	尋常性疣贅およびHPV感染疾患、伝染性軟属腫.	長谷 哲男	皮膚科
225	日皮会誌: 122: 1513-1531, 2012.	皮膚リンパ腫診療ガイドライン2011年改訂版.	菅谷 誠*	皮膚科
226	日皮会誌 122: 1-16, 2012.	慢性痒疹診療ガイドライン.	佐藤 貴浩*	皮膚科
227	日皮会誌 122: 267-280, 2012.	汎発性皮膚瘙癢症診療ガイドライン.	佐藤 貴浩*	皮膚科
228	日皮会誌 122: 1725-1740, 2012.	尋常性白斑診療ガイドライン.	鈴木 民夫*	皮膚科
229	Visual Dermatol 11: 428-430, 2012.	初めての学会発表～学会・研究会の特徴を知る.	三橋善比古	皮膚科
230	医事新報 4588: 65-70, 2012.	イボの見分け方.	三橋善比古	皮膚科
231	アレルギー免疫 19: 894-901, 2012.	慢性痒疹・皮膚瘙癢症診療ガイドラインと治療アルゴリズム.	三橋善比古	皮膚科
232	アレルギー免疫 19: 934-939, 2012.	慢性痒疹・皮膚瘙癢症の外用療法.	三橋善比古	皮膚科
233	Geriat Med 50: 839-843, 2012.	高齢者に多いデルマドローームー皮膚科内蔵の鏡一.	三橋善比古	皮膚科
234	都医雑誌65: 711-714, 2012.	皮膚は内蔵の鏡～デルマドローームで内科疾患の早期発見を～.	三橋善比古	皮膚科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
235	日皮会誌 122: 2071-2076, 2012.	遺伝相談～東京医大皮膚科遺伝外来.	三橋善比古	皮膚科
236	日皮会誌 122: 3201-3203, 2012.	母斑症の遺伝カウンセリング.	三橋善比古	皮膚科
237	日皮会誌 122: 3583-3585, 2012.	内蔵悪性腫瘍のデルマドローム.	三橋善比古	皮膚科
238	日皮会誌 122: 2639-2645, 2012.	皮膚科セミナリウム 第90回蕁麻疹と紅斑疹 3 環状紅斑と類症 (鑑別診断を含む).	大井 綱郎	皮膚科
239	東医大誌 70: 181-192, 2012.	ステロイド外用剤による接触皮膚炎と交叉感作性について.	大井 綱郎	皮膚科
240	アレルギー免疫 19: 222-231, 2012.	免疫抑制薬 乾癬.	大久保ゆかり	皮膚科
241	日皮会誌 122: 3553-3554, 2012.	注射剤によるシワの治療.	乃木田俊辰	皮膚科
242	日レーザー治療会誌 11: 61, 2012.	LEDの臨床への応用.	大工園則雄*	皮膚科
243	日皮会誌 122: 3199-3200, 2012.	色素失調症はここまでわかった.	堺 則康	皮膚科
244	日皮会誌 122: 281-319, 2012.	創傷・熱傷ガイドライン委員会報告-3: 糖尿病性潰瘍・壊疽ガイドライン.	爲政 大幾*	皮膚科
245	日皮会誌 122: 3624-3627, 2012.	褥瘡.	入澤 亮吉	皮膚科
246	臨皮 66: 158-160, 2012.	HIV感染と皮膚科診療.	齋藤万寿吉	皮膚科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
247	皮膚臨床 54: 1660-1663, 2012.	HIVと薬疹.	齋藤万寿吉	皮膚科
248	皮の科 11: 34-38, 2012.	創傷治癒過程におけるfibroblast growth factor (FGF) ファミリーの局在.	倉繁 祐太	皮膚科
249	皮膚臨床 54: 1579-1582, 2012.	ガベキサートメシル酸塩による皮膚障害.	倉繁 祐太	皮膚科
250	Infect Dis. 12(1): 322, 2012 Nov.	Emphysematous cystitis following a transrectal needle guided biopsy of the prostate	Hahimoto T	泌尿器科
251	World J Urol. 2012 Nov	As. sociation of legumain expression pattern with prostate cancer invasiveness and aggressiveness	Ohno Y	泌尿器科
252	Int J Urol. 2012 Oct 29.	Preoperative prediction of malignant involvement of resected ureters in patients undergoing radical cystectomy for bladder cancer	Gondo T	泌尿器科
253	World J Urol. 2012 Sept	Clinical significance of preoperative peripheral blood neutrophil count in patients with non-metastatic upper urinary tract carcinoma	Hashimoto T	泌尿器科
254	Int J Urol. 2012 Jul 13	Pneumatosis intestinalis and hepatic portal venous gas in a patient receiving sorafenib	Kashima T	泌尿器科
255	J Clin Oncol. 42(7): 625-631, 2012	Robotic versus open radical cystectomy: prospective comparison of perioperative and pathologic outcomes in Japan	Gondo T	泌尿器科
256	J Endourology 26(9): 1159-1164, 2012	Rocco B: The powerful impact of double-layered posterior rhabdosphincter reconstruction on early recovery of urinary continence after robot-assisted radical prostatectomy	Gondo T	泌尿器科
257	Urology 79(5): 1085-1091, 2012	Prognostic value of neutrophil-to-lymphocyte ratio and establishment of novel preoperative risk stratification model in bladder cancer patients treated with radical cystectomy	Gondo T	泌尿器科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
258	J. Urology, 187 (2) :411-417, 2012	Followup of neutrophil- to-lymphocyte ratio and recurrence of clear cell renal cell carcinoma	Ohno Y	泌尿器科
259	Int J Clin Oncol. 17 (5) :456-461, 2012	Risk stratification of survival by lymphovascular invasion, pathological stage, and surgical margin in patients with bladder cancer treated with radical cystectomy	Gondo T	泌尿器科
260	カレントセラピー 30 (9) : 922-927, 2012	根治手術—ロボット支援—	伊関 亮	泌尿器科
261	泌尿器外科 25 (9) :1915, 2012	食道癌腎転移の一例	滝澤 一晴	泌尿器科
262	小切開・鏡視外科学 会雑誌 3 (1) : 65- 67, 2012	ロボット手術の泌尿器科領域における現状	堀口 裕	泌尿器科
263	Pharma Medica 30 (10)	ロボット手術の現在と未来	橘 政昭	泌尿器科
264	泌尿器科紀要 56 (8) 409-414, 2012	ロボット支援前立腺全摘術導入初期症例の術後尿禁制の検討：恥骨後式根治手前立腺全摘術との比較	伊関 亮	泌尿器科
265	Japanese Journal of Endourology, 25:203-208, 2012	ロボット支援全摘除術の位置づけ、利点、欠点	吉岡邦彦	泌尿器科
266	Japanese Journal of Endourology, 25:285-291, 2012	ロボット支援根治的膀胱全摘除術	吉岡邦彦	泌尿器科
267	日本がん検診・診断 学会誌 20 (1) :54, 2012	PSA検診で発見され根治的前立腺摘除術が施行された前立腺癌の臨床病理学的検討	中島 淳	泌尿器科
268	東京医科大学雑誌 2012年4月	前立腺全摘後のPSA再発に対する救済放射線療法 の検討	田中絢子	泌尿器科
269	泌尿器科紀要 58 (2) :101-3, 2012	膀胱尿路上皮癌類形質細胞亜型の一例	田中絢子	泌尿器科

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
270	Journal of Infection and Chemotherapy 18 (5) : 630-636, 2012	Prevalence of methicillin-resistant Staphylococcus aureus based on culture and PCR in inpatients at a tertiary care center in Tokyo, Japan	Taguchi H.	救命救急センター
271	日本外傷学会雑誌 26 (4) : 403-408, 2012	日本外傷データベースによる入院日数を軸とした医療リソース消費の解析	織田 順	救命救急センター
272	Japanese Journal of Acute Care Surgery 2: 1-7, 2012	脾動静脈脾枝の臨床解剖学的検討：脾動静脈・迷走神経脾枝付き脾温存尾側脾切除のために	金子 直之	救命救急センター
273	55-61	献体による外傷手術臨床解剖学的研究会—日本版DSTSを目指して—	本間 宙	救命救急センター
274	Journal of Infection and Chemotherapy 19 (1) : 128-137, 2013	Clinical efficacy and safety of arbekacin sulfate in patients with MRSA sepsis or pneumonia: a multi-institutional study	Yukioka T.	救命救急センター
275	Japanese Journal of Infectious Diseases 65 (2) :175-178, 2012	Epidemiological and Microbiological Analysis of Community-associated Methicillin-resistant Staphylococcus aureus Strains Isolated From a Japanese Hospital	Yamaguchi T.	感染制御部
276	Journal of Infection and Chemotherapy 18 (1) : 47-52, 2012	Inhibitory effects of lactoferrin on biofilm formation in clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa. Japan	Kamiya H.	感染制御部
277	FEMS Immunol Med Microbiol 65 (3) : 481-7, 2012	Activation of COL1A2 promoter in human fibroblasts by Escherichia coli	Miyazaki H.	感染制御部
278	Journal of Infection and Chemotherapy 18 (5) : 630-6, 2012	Prevalence of methicillin-resistant Staphylococcus aureus based on culture and PCR in inpatients at a tertiary care center in Tokyo, Japan	Taguchi H.	感染制御部
279	日本臨床微生物学会雑誌 22 (1) : 20-27., 2012	培地のイオン濃度が黄色ブドウ球菌のMRSA判定に及ぼす影響	山口 哲央	感染制御部
280	Travel Med Infect Diseases	Imported malaria and dengue fever in returned travelers in Japan from 2005 to 2010	Mizuno Y.	感染制御部
281	J Clin Microbiol	Detection of dengue virus genome in urine by real-time reverse transcriptase PCR: a laboratory diagnostic methods useful after disappearance of the genome in serum	Hirayama T.	感染制御部

小計
12

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
282	感染症学雑誌	再発が疑われアジスロマイシン注射薬が奏功した腸チフスの一例	水野 泰孝	感染制御部
283	Journal of Infection and Chemotherapy	Vertebral osteomyelitis caused by non-tuberculous mycobacteria: case reports and review	Shimizu H	感染制御部
284	感染症学雑誌 86: 427-429, 2012	再発が疑われアジスロマイシン注射薬が奏功した腸チフスの1例	水野 泰孝	渡航者医療センター
285	日本職業・災害医学会誌 60: 269-273, 2012	海外勤務者に帯同し途上国に長期滞在する日本人小児の受療疾患	福島 慎二	渡航者医療センター
286	総合健診 36: 849-853, 2012	国際化社会における企業の感染症対策	濱田 篤郎	渡航者医療センター
287	日本渡航医学会会誌 6: 20-24, 2012	海外渡航にともなう健康問題に関する意識調査	廣幡 智子	渡航者医療センター
288	Anticancer Res. 32: 4473-4478, 2012	Combination Chemotherapy of Alternating Etoposide and Carboplatin with Weekly Administration of Irinotecan and Cisplatin in Extensive-Stage Small Cell Lung Cancer	Yoshimura A	臨床腫瘍科
289	J Nippon Med Sch. 79: 403-408, 2012	An Effective Training Program of Chest Tube Drainage for Medical Interns in a Clinical Simulation Laboratory	Yoshimura A	臨床腫瘍科
290	J Nippon Med Sch. 79: 430-437, 2012	Clinical Clerkship Course for Medical Students on Lumbar Puncture Using Simulators	Adachi K	臨床腫瘍科
291	Blood 119: 3097-104, 2012	Cancer/testis antigens are novel targets of immunotherapy for adult T-cell leukemia/lymphoma	Nishikawa H	人体病理学
292	Cancer Res 72: 1672-82, 2012	Intracellular tumor-associated antigens represent effective targets for passive immunotherapy	Noguchi T	人体病理学
293	J Cancer Sci Ther 4: 335-340, 2012	EWS-WT1 chimeric protein in desmoplastic small round cell tumor is a potent transactivator of FGFR4	Saito T	人体病理学

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
294	J Biol Chem 287:38716-28, 2012	Matrix metalloproteinase-13 (MMP-13) directly and indirectly promotes tumor angiogenesis	Kudo Y	人体病理学
295	Radiother Oncol 103:32-7, 2012	Results of carbon ion radiotherapy for head and neck cancer	Mizoe JE	人体病理学
296	PLoS One 7:e44488, 2012	Periostin directly and indirectly promotes tumor lymphangiogenesis of head and neck cancer	Kudo Y	人体病理学
297	Cancer Sci 103:17- 25, 2012	T-cell receptor gene therapy targeting melanoma-associated antigen-A4 inhibits human tumor growth in non-obese diabetic/SCID/ γ null mice	Shirakura Y	人体病理学
298	J Immunother 35:513-21, 2012	Clinical trial of the intratumoral administration of labeled DC combined with systemic chemotherapy for esophageal cancer	Fujiwara S	人体病理学
299	Invest Ophthalmol Vis Sci 53:5395- 402, 2012	Immune mediators in vitreous fluids from patients with vitreoretinal B cell lymphoma	Usui Y	人体病理学
300	Lung Cancer 78:153- 60, 2012	Impact of visceral pleural invasion on the survival of patients with non-small cell lung cancer	Kudo Y	人体病理学
301	J Gastroenterol Hepatol 27 Suppl 3:34-9, 2012	Narrow-band imaging on screening of esophageal lesions using an ultrathin transnasal endoscopy	Kawai T	人体病理学
302	J Hepatobiliary Pancreat Sci 19:543-7, 2012	Evaluation of effects of a novel endoscopically applied radiofrequency ablation biliary catheter using an ex-vivo pig liver	Itoi T	人体病理学
303	Neurosci Lett 528:83-8, 2012	Int6 silencing causes induction of angiogenic factors in neuronal cells via accumulation of hypoxia-inducible factor 2 α and decreases brain damage in rats	Miyashita R	人体病理学
304	Nephrology (Carlton) 17:68-75, 2012	Histological predictors for renal prognosis in diabetic nephropathy in type 2 diabetes patients with overt proteinuria	Okada T	人体病理学
305	J Ultrasound Med 31:1909-16, 2012	Quantification in molecular ultrasound imaging: a comparative study in mice between healthy liver and a human hepatocellular carcinoma xenograft	Sugimoto K	人体病理学

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
306	J Ultrasound Med 31:529-38, 2012	Comparison of Kupffer-phase Sonazoid-enhanced sonography and hepatobiliary-phase gadoxetic acid-enhanced magnetic resonance imaging of hepatocellular carcinoma and correlation with histologic grading	Sugimoto K	人体病理学
307	Hepatogastroenterology 59:659-63, 2012	Mucin phenotypes and macroscopic shape of multiple hyperplastic polyps together with two carcinomas in the stomach	Mizuguchi Y	人体病理学
308	Hepatogastroenterology 59:981-5, 2012	Comparison of preoperative images with gross and histopathological findings of liver slices in patients with liver metastases from colorectal cancer after chemotherapy	Kasuya K	人体病理学
309	Acta Histochem Cytochem 45:269-82, 2012	Histochemistry of salivary glands. Immunohistochemical analysis of salivary gland tumors: Application for Surgical pathology practice	Nagao T	人体病理学
310	Skeletal Radiol 41:1641-4, 2012	A case of paravertebral mediastinal chordoma without bone destruction	Matsubayashi J	人体病理学
311	Pathol Res Pract 208:736-40, 2012	An intrapelvic extraintestinal gastrointestinal stromal tumor of undetermined origin: Diagnosis by prostate needle biopsy	Takahashi RH	人体病理学
312	Ann Vasc Surg 26:1013. e9- 1013. e12., 2012	Spontaneous rupture of autogenous saphenous vein graft in bypass surgery for peripheral arterial disease possibly associated with collagen disease	Komai H	人体病理学
313	Intern Med 51:1709- 13, 2012	Usefulness and limitations of unilateral adrenalectomy for ACTH-independent macronodular adrenal hyperplasia in a patient with poor glycemic control	Kobayashi T	人体病理学
314	Surg Today 42:899- 902, 2012	An intrapericardial foregut cyst: report of a thoracoscopically resected case	Kudo Y	人体病理学
315	J Maxillofac Oral Surg, e-pub.	Chondrosarcoma of the maxilla extending to the pterygomandibular space: A case report and review of the literature	Satomi T	人体病理学
316	腎と透析, 73:727- 740, 2012	腎生検所見から何を学ぶか (No. 49) 急性腎不全を合併し非典型的な病理組織像を呈した急性糸球体腎炎の1例	朱 時世	人体病理学

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
317	日本臨床細胞学会雑誌, 51: 382-383, 2012	膵腺房細胞癌の1例	小川高史	人体病理学
318	日本口腔外科学会雑誌, 58:362-365, 2012	舌に発生したbasaloid squamous cell carcinomaの1例	橋寛彦	人体病理学
319	泌尿器科紀要, 58:101-103, 2012	経尿道的切除後に急速に進展した膀胱尿路上皮癌・形質細胞様型の1例	田中絢子	人体病理学
320	関東整形災害外科学会雑誌, 43:344-347, 2012	脊髄癆を原因としたCharcot spineに対し脊椎固定術を行った1例	木船 史朗	人体病理学
321	関東整形災害外科学会雑誌, 43:240-244, 2012	椎体再建術を施行した仙骨嚢腫の1例	中島 大介	人体病理学
322	日本外科系連合学会雑誌, 37:1147-1152, 2012	術前診断しえた侵襲性血管粘液嚢腫の1例	久田 将之	人体病理学
323	小児リウマチ, 3: 63-66, 2012	亜急性壊死性リンパ節炎におけるサイトカインからみた病態解析	廣瀬 あかね	人体病理学
324	日本臨床外科学会雑誌, 73:3052-3056, 2012	局所再発を繰り返した乳腺多形腺腫の1例	井上 英美	人体病理学
325	Sleep Biol Rhythms 12(7): 72-74, 2012	Effect of post-learning sleep versus wakefulness on advantageous decision-making: A preliminary study	Abe T.	睡眠学寄付講座
326	Intern Med 51(23): 3253-3560, 2012	Short Sleep Duration, Snoring and Subjective Sleep Insufficiency Are Independent Factors Associated with both Falling Asleep and Feeling Sleepiness while Driving	Abe T.	睡眠学寄付講座
327	J Neurol Sci 317(1-2): 13-16, 2012	Change in frequency of periodic limb movements during sleep with usage of continuous positive airway pressure in obstructive sleep apnea syndrome	Aritake-Okada S.	睡眠学寄付講座
328	Sleep Med 13(4): 354-361, 2012	The factors associated with preferences for napping and drinking coffee as countermeasures for sleepiness at the wheel among Japanese drivers	Asaoka S.	睡眠学寄付講座

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
329	Sleep 35 (6) : 871-878, 2012	The effects of a nighttime nap on the error-monitoring functions during extended wakefulness	Asaoka S.	睡眠学寄付講座
330	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 40C: 326-333, 2012	Efficacy, safety and risk of augmentation of rotigotine for treating restless legs syndrome	Inoue Y.	睡眠学寄付講座
331	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 36 (2) : 251-257, 2012	Long-term efficacy and safety of gabapentin enacarbil in Japanese restless legs syndrome patients	Inoue Y.	睡眠学寄付講座
332	Sleep Med 13 (1) : 107-110, 2012	Relationship between napping pattern and nocturnal sleep among Japanese nursery school children	Komada Y.	睡眠学寄付講座
333	Sleep Med 13 (9) : 1115-1121, 2012	A two-year follow-up study on the symptoms of sleep disturbances/insomnia and their effects on daytime functioning	Komada Y.	睡眠学寄付講座
334	J Oral Rehabil 39 (2) : 111-117, 2012	Difference in dental arch size between obese and non-obese patients with obstructive sleep apnoea	Maeda K.	睡眠学寄付講座
335	Tohoku J Exp Med 226 (3) : 177-181, 2012	Effectiveness of pramipexole, a dopamine agonist, on rapid eye movement sleep behavior disorder	Sasai T.	睡眠学寄付講座
336	Parkinsonism Relat Disord 18 (5) : 616-618, 2012	Do patients with rapid eye movement sleep behavior disorder have a disease-specific personality?	Sasai T.	睡眠学寄付講座
337	Sleep Med 13 (7) : 913-918, 2012	Validation of the Japanese version of the REM sleep behavior disorder questionnaire (RBDQ-JP)	Sasai T.	睡眠学寄付講座
338	Sleep Med 13 (3) : 301-306, 2012	Impaired decision-making in idiopathic REM sleep behavior disorder	Sasai T.	睡眠学寄付講座
339	Sleep Breath 16 (4) : 957-960, 2012	Tongue position controller as an alternative treatment for obstructive sleep apnea	Tsuiki S.	睡眠学寄付講座
340	Sleep Breath 16 (3) : 587-589, 2012	A dentist's role: prevention of snoring at temporary refuges for victims of the East Japan earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident on March 11, 2011	Tsuiki S.	睡眠学寄付講座

NO	雑誌名	題名	発表者氏名	部署
341	Blood Cancer Journal, 2012, 2:e53	Plasma miR-92a levels have clinical impact on multiple myeloma and related disorders.	Yoshizawa S	先端分子探索寄付講座
342	BMC Medical Genetics, 2012, 13:6	The C allele of the JAK2 rs4495487, and additional candidate locus that contribute to MPN predisposition in Japanese population.	Ohyashiki JH	先端分子探索寄付講座

小計
2合計
342

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 (坪井良治)
管理担当者氏名	事務部長 (吉田長司)、薬剤部長 (明石貴雄)、総務課長 (出家敏之) 事務部次長/医事課長 (宮野春樹)、人事課長 (中野隆介) 中央病歴室長 (山本謙吾)、安全管理室長 (三木保) 感染制御部長 (水野泰孝)、臨床工学部長 (内野博之)、各診療科長 総合相談・支援センター長/生涯教育センター長 (土田明彦) 研究支援課長 (水氣琢也)

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		総務課 薬剤部 中央病歴室	日誌等はファイルにより保管。 診療に関する諸記録はターミナルデ ィジットファイリング方式を取り、 入院・外来別に1患者1ファイルを原 則に保管管理している。	
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	人事課	担当する各部門において、コンピ ュータ又はファイル等により保管管理 している。	
	高度の医療の提供の実績	各診療科 医事課		
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	各診療科 研究支援課		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	薬剤部 医事課		
	第規 一則 号第 一 掲条 げの る十 体一 制第 一 確項 保各 の号 状及 び第 九条 の二 十三 第一 項	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況		安全管理室
		医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況		安全管理室
		医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況		安全管理室 生涯教育センタ ー
医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況		安全管理室		
専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置 状況		安全管理室		
専任の院内感染対策 を行う者の配置状況		感染制御部		
医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況		安全管理室		
当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況		総合相談・ 支援センター		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 総務課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部 生涯教育センター
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部 放射線部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部 放射線部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部 放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長（坪井良治）
閲覧担当者氏名	事務部長（吉田長司）、薬剤部長（明石貴雄）、総務課長（出家敏之） 事務部次長／医事課長（宮野春樹）、人事課長（中野隆介） 中央病歴室長（山本謙吾）、安全管理室長（三木保） 感染制御部長（水野泰孝）、臨床工学部長（内野博之）、各診療科長 総合相談・支援センター長／生涯教育センター長（土田明彦） 研究支援課長（水気琢也）
閲覧の求めに応じる場所	本館6階 会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	2 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	1 件
	地方公共団体	延	1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	56.6%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		26,413 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,356 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		3,379 人
	D：初診の患者の数		64,446 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 第 3 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>1.目的</p> <p>この指針は、学校法人東京医科大学における医療安全に関する基本指針の趣旨に基づき、東京医科大学病院（以下「病院」という。）における医療の安全を確保するために必要な体制及び医療事故発生時の対応方法を示し、もって良質で安全な医療提供に寄与することを目的とする</p> <p>2.基本的な考え方</p> <p>1) 質の高い医療を持続して提供するためには、安全管理体制のより一層の充実を目指す必要が重要である。この姿勢の確保は、全ての医療従事者の責務であり、全職員が医療の質の向上と安全の推進に取り組まなければならない。</p> <p>2) 病院長は、個人の努力に依拠する安全管理には限界があることを認識し、組織を挙げた安全システム構築に努める必要がある。</p> <p>3.組織及び体制</p> <p>1) 病院長は、「学校法人東京医科大学における医療安全に関する基本指針」第 2 条第 2 項各号に従い次の物を任命し、又は部門を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 医療安全管理委員会(2) 安全管理室(3) 総合相談・支援センター(4) 統括安全管理者(5) 感染制御部(6) 医薬品安全管理責任者(7) 医療機器安全管理責任者 <p>2) 病院長は、前項各号に掲げる者又は部門の運営に係る事項を定める。</p> <p>4.職員研修</p> <p>病院長は、医療に係る安全管理のための全職員に対する研修を実施する。</p>	

5.報告に基づく安全管理体制

全職員は患者に望ましくない有害事象が発生した場合、またはその可能性を発見した場合は、別に定める規定に基づく報告をしなければならない。

6.医療事故発生時の対応

- 1) 全職員は、患者に有害事象が発生した場合、患者の回復並びに患者および家族等に対する情報提供に努める。
- 2) 病院長は、患者に有害事象が発生した場合の対応に係る事項を定める。

7.個人情報の保護

- 1) 全職員は、患者等の個人情報を保護する義務を有する。
- 2) 病院長は、個人情報に係る事項を定める。

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況

年 12 回

・ 活動の主な内容：

- (1) 医療事故発生防止のための総合的な対策と施設及び設備の改善計画の立案
- (2) 医療事故等発生状況の把握及び調査検討・病院報告制度の整備
- (3) 発生した重大な医療事故への対応と、改善策の職員への周知徹底

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 109 回

・ 研修の主な内容：

- 1) 医療法に定められた従業員必須研修の実施安全に係わる研修は6月と11月に開催している。当院には全職員を収容講堂などの会場がない（320人程度が限界）ため、同内容の研修を月～金曜日の連日行っている。これまで、当日参加できない者に対しては、後日DVD上映の開催、DVDの貸し出しなどの方法を行っていた。しかし、直接生講演を聴くことが最良と考え、聴講しやすい環境の工夫として、“5日間連日同内容”の講演を開催する方法とした。それでも参加ができなかった者には、これまで同様にDVD上映によりフォローをしている（1講演につき、時間と曜日を変えながら実施、本講演10回、DVD上映会39回実施）。研修参加状況把握では、職員番号をカードリーダーに通す方法で管理し、個人別、所属別の参加・不参加を把握している。その上で、不参加者には診療科長・所属長（責任者）に不参加者リストを配信し、DVD上映会に参加を促すなどの対策を講じている。

2) メモリアルデー（医療安全を誓う日）の開催

当院独自の職員聴講義務研修会である。

当院の重大医療事故発生を契機に、平成17年より「医療安全を誓う日」として、毎年8月第1土曜日に実施している。患者、市民、従業員を対象として実施している（本講演1回、DVD上映21回）。

3) 中心静脈（CV）ライン挿入に関する研修（知識・技術研修などを含め25回）

当院でCVラインを挿入するためには、院内規定に沿った審査を受け認定される必要がある。5年目以上の医師は条件を満たすと「認定医」となり、研修医は「施行医」として認定される。CVラインを安全に挿入するための教育はCVライン管理部会が担っており、知識、技術の研修を定期的に行っている。手技の習得は、卒後臨床研修センターと協力して実施している。

4) 中途採用・帰任者必須研修の実施

これまで、中途採用・帰任者への安全研修は、配属先の所属にほぼ一任した状態であった。これを改め、毎月1回定期開催している。安全・感染・個人情報などの安全に関する情報共有と周知を行っている。個人および所属長（責任者）に受講案内を通知し、当日は、カードリーダーで出欠席を管理し、研修受講後には「理解度自己チェック」により、研修の周知状況などの把握に努めている。

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)

・その他の改善のための方策の主な内容：

(1) インシデント・アクシデントレポート報告方法の変更 → イン트라ネットでの報告

(2) 医療事故報告範囲基準の変更

(3) 日本医療機能評価機構への報告

(4) 医療事故防止および医療の質確保に関する活動

・全死亡例患者の報告制度の設置

(5) 医療安全推進委員会（多職種混成チーム）による定期的院内巡視と評価

- (6) 情報の一元化（職員が知っておくべき共有ファイルの指定と管理）
- (7) 多職種による合同カンファレンスの推進（職場安全会議）
- (8) インフォームド・コンセント時の複数立ち会いの推奨（看護師の立ち会いの推奨）
- (9) 医療安全情報の配信（医療安全情報等）
- (10) 「安全管理ポケットマニュアル」の改定作業
- (11) 抗がん剤、高カロリー輸液などの中央調剤システムの構築
- (12) 院内「内部通報制度」の構築等
- (13) 病院倫理委員会の設置によるコンプライアンス（法令遵守）に関わる活動
 - 1) 学校法人設置のコンプライアンス推進委員会へ出席し情報を共有
 - 2) 病院倫理委員会へ出席し情報を共有
 - 3) 終末期医療のあり方に関するガイドライン作成
 - 4) 非輸血患者の対応に関するガイドライン作成
 - 5) 包括同意に関する文章作成
- (14) 三施設間安全相互ラウンドの実施

東京医大病院には三施設の病院がある。同系列病院として安全管理の質向上と相互理解、情報共有などを図る目的で、三病院医療安全相互ラウンドを実施。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (有) (4名)・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (有) (9名)・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 (有)・無

- ・ 所属職員： 専任（4）名 兼任（4）名
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会開催のための資料準備および議事録作成と管理
- (2) 医療安全推進に関わる各委員会の開催と資料作成、議事録などの管理
 - 1) 院内病因死因検討会（M&M 検討会）の開催
 - 2) 医療安全推進委員会の開催
 - 3) CV ライン管理部会の開催
 - 4) RRS 部会開催 他
- (3) 医療安全管理者会議の開催

各部門の医療安全管理者（リスクマネージャ）の研修に関する運営と評価

- (4) 各部門における医療安全推進の状況把握と評価
- (5) 安全に関する他委員会との連携強化
 - 1) 感染症対策委員会との連携と情報共有
 - 2) 医薬品安全管理責任者との連携と情報共有
 - 3) 医療機器安全管理責任者との連携と情報共有
 - 4) 個人情報保護委員会との連携と情報共有
 - 5) 総合相談・支援センターとの連携と情報共有
 - 6) がん化学療法レジメン審査委員会との連携と情報共有
 - 7) 中央手術部運営委員会との連携と情報共有
- (6) 医療事故など発生時の対応と指導、職員への周知
 - 1) 医療事故発生時の原因究明に関する調査および対策に関する活動
 - 2) 臨時院内病因死因検討会（M&M 検討会）および医療事故調査委員会開催に関する資料準備、議事録作成と管理等
 - 3) 管轄官庁届出に関する作業および記録類の管理
 - 4) 職員への指導および援助、再発防止に関する対策構築
 - 5) 患者、家族への対応
- (7) 医療安全に係る取り組みの評価を行うためのカンファレンスの実施
安全管理室ミーティング内で検討している
- (8) 医療安全に係る職員への教育研修会の企画と運営と評価
- (9) その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

①・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策の基本的な考え方を示して、感染症発生防止に留意し、発生時には速やかな制圧を全職員で図る。2. 病院長直属の中心的な組織、感染制御部を設ける。3. 対策の病院全体への周知・実施を行っていくため、感染症対策委員会と感染対策小委員会の設置、感染リンクドクター・リンクナースを配備する。4. 病院職員に対しては基本的な考え方や具体的な方策に関する研修会を開催する。5. 感染症に関する注意情報を随時発するとともに、院内における耐性菌の検出状況を委員会・診療合同会議にて報告する。6. 感染症発生時には職員は、すみやかに感染制御部へ報告し、感染制御部は原因究明・改善策を委員会にあげる。委員会から全職員に改善策を周知徹底させる。7. 指針は患者その家族が閲覧できる。患者・家族にも感染防止の意義や手技を説明し、協力を求める。8. 職員はマニュアルを遵守するとともに、自らの健康管理に留意する。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 微生物検査室からの耐性菌分離レポートの集計結果による発生動向の把握と分析2. 感染制御部病棟ラウンド状況の報告（対象：血液・髄液培養分離例、広域抗菌薬長期間投与例、耐性菌分離例、アウトブレイク事例等）3. 感染制御部立案の具体的対策案について、各種職種代表者による審議4. 対策案・注意喚起情報の職員への周知（診療合同会議・科長会議・師長会議・総医局会・中央診療部門の各部署での会議や院長通達、サイボウズや書面等による委員会からの情報発信など）5. マニュアル・ガイドラインなど院内全般に渡る規約の最終決議	

・研修の主な内容

- (1) 新採用者に対するエンターション：院内感染対策組織・マニュアル、標準予防策、感染経路別予防策、針刺し・液体曝露、手指衛生・個人防護具着脱演習
- (2) 医療安全に関する研修：感染予防策の基本、マニュアル改訂にあたって、医療安全について、個人情報保護についてなど
- (3) 定例研修実践 遵守率がアップする手指衛生対策のポイント、院内感染対策－抗菌薬の適正使用－、発刊 制御の基本とファシリティマネジメント
- (4) 感染リスク結果ベース研修：標準予防策、感染経路別予防策、手指消毒、PPE着脱、耐性菌検出時の感染拡大対策、季節性流行疾患の予防と対策、感染リンクナーズの役割、年間目標・活動計画、速乾性アルコール製剤使用量報告、環境ラウンド、グループディスカッション
- (5) 臨床研究のためのレクチャー：感染症診療のフレームワーク、血液培養、微生物・抗菌薬培養検査とその意義、感染症治療の評価
- (6) 委託業者による勉強会：病院清掃における感染対策
- (7) 中途採用者に対する医療安全研修会：医療安全、感染対策、個人情報
- (8) その他 感染対策シミュレーション研修、SSI予防のための抗菌薬投与、PPE選択・着脱トレーニング、看護研修

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・病院における発生状況の報告等の整備 (有) 感染症リストによる電話・報告書提出
- ・その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 耐性菌の減少のための広域抗菌薬一定期間使用者リストアップ・血液培養陽性者/耐性菌検出者リストに対する現場のラウンドによる指導
 - (2) 院内感染対策ラウンドによる基本手技、医療行為、病院環境のチェックと指導
 - (3) マニュアルの見直し・検討・改訂
 - (4) 感染リスクベースの年間活動計画に基づくグループ活動の実施
 - (5) 感染リスクベースによる自己チェック表を用いた自己評価と改善活動報告
 - (6) 部署、職種別の耐性菌検出者・感染者のサーベイランス情報による注意情報発信
 - (7) 人事課と同等によるワクチン接種プログラムの計画立案・実施・評価
 - (8) 感染防止地域連携加算に関する連携医療機関とのカンファレンス (実施回数：6回)

Topic
diff
rence
cance
tion

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>(1) 新規採用者研修（麻薬の管理、劇・毒薬の管理、向精神薬の管理、覚せい剤原料の管理、血漿分画製剤の管理）</p> <p>(2) 医薬品に関する研修（全職員対象：薬剤アレルギーへの薬剤誤投与防止対策）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (○・無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <p>手順書及びチェックシートを作成した。チェックシートによる業務の確認は病院全体及び薬剤部については年 2 回、病棟については月 1 回行い、期限切迫医薬品の回収も併せて行っている。採用医薬品については医療安全の観点からも検討している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 医薬情報室には専任薬剤師を 3 名配置している。</p> <p>(2) 医薬品の安全使用に関する情報は厚生労働省ホームページ、インターネット、新聞、雑誌、製薬企業等から入手し必要に応じて加工し、イントラネット（薬剤部ニュース）、薬事ニュース、各種会議で解説・周知している。</p> <p>(3) 外観変更医薬品の画像を薬事ニュースに掲載、隔壁未開通事例の多い輸液の採用中止、プレフィルドシリンジの積極的採用を行っている。</p> <p>(4) 抗がん剤のオーダーは休日を含め薬剤部で全数チェックしている（レジメン、投与間隔等）</p> <p>(5) 入院患者の抗がん剤の点滴調製を薬剤部で実施している。</p> <p>(6) 手術室、ICU・CCUにも薬剤師を配置し医薬品の適正な使用、在庫管理をしている。</p> <p>(7) 処方せん疑義照会を集計・分析して、診療科に必要な情報を提供している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 86 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>人工呼吸器をはじめ、厚生労働省の指導事項である特定管理医療機器の7機種(粒子線照射装置は保有しない)等及び新規採用時の機器に対しての説明会や研修会を、関係する医療従事者に対して、有効性・安全性・使用方法・保守点検に関する事項、その他不具合が発生した場合の対応、使用に際し法令上、遵守すべき事項などについて実施している。(人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなど)</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (①・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <p>人工呼吸器、人工心肺と補助循環、除細動器、血液浄化装置、閉鎖式保育器、高エネルギー放射線装置、放射線照射装置、輸液ポンプ、シリンジポンプなどに対して、年度計画にもとづきメーカーによる年1～2回の定期保守点検のほか、使用前・使用中・使用後点検等を、臨床工学部内及び現場の医師・看護師・技士(師)により実施している。前年度より、臨床工学部では中央管理業務の業務委託を導入し、医療機器管理の質の向上を図っている。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>メーカーや日本医療機能評価機構、PMDA等から出される情報の収集は、関連部署はもとより安全管理室・臨床工学部・事務部資材課にて行われており、必要に応じて、安全管理室より緊急情報として院内全体に発信される。部門対象の機器については、当該部署の関係者へ報告周知している。機器の安全使用を目的とした改善の実施については、院内配置の麻酔器について機種統一を図る計画を3～4年にて実施予定。院内の水銀血圧計を廃止する方向で、看護部と協力して、電子卓上式血圧計、アネロイド式血圧計の導入を検討中である。また、人工呼吸器において人工鼻と加温加湿器の併用によりインシデントが発生したことから、安全管理者会議で周知したとともに、さらなる徹底を医療安全義務研修にて図る計画である。</p>	